

教科・科目	外国語・ステップアップ英語	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	1	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	Amity English Communication I（開隆堂） （放送視聴）NHK 高校講座「ベーシック英語」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	GET READY Lesson 1 The Beautiful Scenery Lesson 2 My Best Friend	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	Lesson 3 Love for Dance Lesson 4 Endangered Species Lesson 5 The History of Chocolate	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期 8 回以上、後期 8 回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期 2 回までスクーリング回数に含めることができる。（視聴 4 回で 1 回分）
	教科別質問教室について	各期 2 回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前 1 回～前 6 回、後 1 回～後 6 回のすべてに合格すること。	
試験	前期 1 回、後期 1 回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① GET READY 日付・アルファベット	前1	1	2	4/21	4/22	—	4/25	
			3	4					
	② GET READY 辞書の使い方	前2	1	2	5/12	5/13	—	5/16	
			3	4					
	③ Lesson 1 The Beautiful Scenery be 動詞・一般動詞の現在形	前3	1	2	5/26	5/27	—	5/30	
			3	4					
	④	前4	1	2	6/9	6/10	—	6/17	
			3	4					
	⑤ Lesson 2 My Best Friend be 動詞・一般動詞の過去形	前5	1	2	6/23	6/24	—	6/27	
			3	4					
⑥	前6	1	2	7/7	7/8	—	7/11		
		3	4						
⑦	前期の復習				7/21	7/22	—	7/25	
放送 視聴	NHK 高校講座「ベーシック英語」 第1回・2回・3回・4回	視聴票	1	2	月 日 合格				
	NHK 高校講座「ベーシック英語」 第5回・6回・7回・8回	視聴票	1	2	月 日 合格				
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/25	8/26	—	8/29	
後期	⑧ Lesson 3 Love for Dance 進行形・助動詞	後1	1	2	10/13	10/21	—	10/17	
			3	4					
	⑨	後2	1	2	10/27	10/28	—	10/31	
			3	4					
	⑩ Lesson 4 Endangered Species 不定詞	後3	1	2	11/10	11/11	—	11/7	
			3	4					
	⑪	後4	1	2	11/24	11/25	—	11/28	
			3	4					
	⑫ Lesson 5 The History of Chocolate 動名詞	後5	1	2	12/8	12/9	—	12/12	
			3	4					
⑬	後6	1	2	12/22	12/23	—	12/26		
		3	4						
⑭	後期の復習				1/12	1/20	—	1/16	
放送 視聴	NHK 高校講座「ベーシック英語」 第9回・10回・11回・12回	視聴票	1	2	月 日 合格				
	NHK 高校講座「ベーシック英語」 第13回・14回・15回・16回	視聴票	1	2	月 日 合格				
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/2	2/3	—	1/30	

6 先生からのメッセージ

基礎的な内容の復習を中心に進めていきます。レポートの内容がわかるようになるまで、繰り返し取り組みましょう。レポートは分からないことがあれば質問し、早めに提出するようにしましょう。

教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅠ	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	1、2	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：コミュニケーション英語Ⅰ				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付ける。</p>			
使用教科書 副教材等	All Aboard! English CommunicationⅠ（東京書籍） All Aboard! English CommunicationⅠ学習書（NHK出版）	（放送視聴） NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅠ」		

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Pre-Lesson 1、2 be 動詞、一般動詞 Lesson 1 過去形 Lesson 2 進行形 Lesson 3 助動詞 Lesson 4 to 不定詞 Lesson 5 動名詞	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	英文の仕組み Lesson 6 受け身 Lesson 7 比較表現 Lesson 8 現在完了形 Lesson 9 名詞を後ろから説明する分詞 Lesson 10 関係代名詞	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期8回以上、後期8回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。（視聴2回で1回分）
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者	先生				登録		
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	① Warm-Up Pre-Lesson 1 be動詞 Pre-Lesson 2 一般動詞	前1	1	2		4/21	4/22	4/23	4/25
			3	4					
	② Lesson 1 Breakfast around the World 過去形	前2	1	2		5/12	5/13	5/14	5/16
			3	4					
	③ Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 進行形	前3	1	2		5/26	5/27	5/28	5/30
			3	4					
	④ Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 助動詞	前4	1	2		6/9	6/10	6/11	6/17
			3	4					
	⑤ Lesson 4 A Miracle Mirror to 不定詞	前5	1	2		6/23	6/24	6/25	6/27
			3	4					
⑥ Lesson 5 Learning from the Sea 動名詞	前6	1	2		7/7	7/8	7/9	7/11	
		3	4						
⑦ 前期の復習					7/21	7/22	7/23	7/25	
放送視聴	NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅠ」第1回・9回	視聴票	1	2		月	日	合格	
	NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅠ」第11回・17回	視聴票	1	2		月	日	合格	
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/25	8/26	8/27	8/29	
後期	⑧ 英文の仕組み	後1	1	2		10/13	10/21	10/15	10/17
			3	4					
	⑨ Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 受け身	後2	1	2		10/27	10/28	10/29	10/31
			3	4					
	⑩ Lesson 7 A Diary of Hope 比較表現	後3	1	2		11/10	11/11	11/12	11/7
			3	4					
	⑪ Lesson 8 A Door to a New Life 現在完了形	後4	1	2		11/24	11/25	11/26	11/28
			3	4					
	⑫ Lesson 9 Fighting Plastic Pollution 名詞を後ろから説明する分詞	後5	1	2		12/8	12/9	12/10	12/12
			3	4					
⑬ Lesson 10 Pigs from across the Sea 関係代名詞	後6	1	2		12/22	12/23	12/24	12/26	
		3	4						
⑭ 後期の復習					1/12	1/20	1/14	1/16	
放送視聴	NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅠ」第21回・26回	視聴票	1	2		月	日	合格	
	NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅠ」第30回・35回	視聴票	1	2		月	日	合格	
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/2	2/3	2/4	1/30	

6 先生からのメッセージ

レポートは、教科書、学習書を参考にしながら早めに取り組み、最後まであきらめずに完成させましょう。合格した後は何度もレポートの問題を解いて、学習内容への理解を深めましょう。分からないところは、教科別質問教室に参加するなどして質問してみましょう。NHK 高校講座も活用してみてください。

教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅡ	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	2	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、日常的な話題や社会的な話題について、使用したりされたりする語句や文的確に理解し、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点等を、的確に理解したり適切に表現したりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり、書き手の意図を把握したり、概要や要点を捉える力を身に付ける。</p>			
使用教科書 副教材等	All Aboard! English Communication II（東京書籍） All Aboard! English Communication II 学習書（NHK 出版）		（放送視聴） NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅡ」	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、日常的な話題や社会的な話題について、使用したりされたりする語句や文的確に理解し、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点等を、的確に理解したり適切に表現したりする力を身に付けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり、書き手の意図を把握したり、概要や要点を捉える力を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson 1 A Colorful Island Lesson 2 With the Beatles Lesson 3 Wild Men Lesson 4 Little Hero Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	Lesson 6 Seeds for Future Generations Lesson 7 Over the Wall Lesson 8 Inspiration from Nature Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate Lesson 10 Fighting Angel	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期 8 回以上、後期 8 回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期 2 回までスクーリング回数に含めることができる。（視聴 2 回で 1 回分）
	教科別質問教室について	各期 2 回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前 1 回～前 6 回、後 1 回～後 6 回のすべてに合格すること。	
試験	前期 1 回、後期 1 回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者		先生		登録			
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	① Pre-Lesson My Plans for This Year	前1	1	2	4/21	—	4/23	4/25	
	3		4						
	② Lesson 1 A Colorful Island 関係代名詞	前2	1	2	5/12	—	5/14	5/16	
	3		4						
	③ Lesson 2 With the Beatles 比較表現	前3	1	2	5/26	—	5/28	5/30	
	3		4						
	④ Lesson 3 Wild Men itの用法	前4	1	2	6/9	—	6/11	6/17	
3	4								
⑤ Lesson 4 Little Hero 間接疑問文	前5	1	2	6/23	—	6/25	6/27		
3		4							
⑥ Lesson 5 Special Makeup in Kabuki to不定詞を含む表現	前6	1	2	7/7	—	7/9	7/11		
3		4							
⑦ 前期の復習					7/21	—	7/23	7/25	
放送 視聴	NHK 高校講座「英語コミュニケーションII」第3回・4回	視聴票	1	2	月 日 合格				
	NHK 高校講座「英語コミュニケーションII」第6回・7回	視聴票	1	2	月 日 合格				
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/25	—	8/27	8/29	
後期	⑧ Lesson 6 Seeds for Future Generations 動詞の目的語になるif節	後1	1	2	10/13	—	10/15	10/17	
	3		4						
	⑨ Lesson 7 Over the Wall 関係副詞	後2	1	2	10/27	—	10/29	10/31	
	3		4						
	⑩ Lesson 8 Inspiration from Nature 知覚動詞	後3	1	2	11/10	—	11/12	11/7	
	3		4						
	⑪ Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 使役動詞	後4	1	2	11/24	—	11/26	11/28	
3	4								
⑫ Lesson 10 Fighting Angel 分詞構文	後5	1	2	12/8	—	12/10	12/12		
3		4							
⑬ 後期の復習	後6	1	2	12/22	—	12/24	12/26		
3		4							
⑭ 言語活動					1/12	—	1/14	1/16	
放送 視聴	NHK 高校講座「英語コミュニケーションII」第20回・21回	視聴票	1	2	月 日 合格				
	NHK 高校講座「英語コミュニケーションII」第24回・25回	視聴票	1	2	月 日 合格				
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/2	—	2/4	1/30	

6 先生からのメッセージ

英語は言葉です。学習したことを忘れないように何度も繰り返して、身に付けていきましょう。レポートで学習した単語・熟語、文法を理解して、使えるようになるまで何度も繰り返し学習しましょう。分からないことがあったら、早めに担当者に質問に行きましょう。NHK 高校講座も活用しましょう。

教科・科目	外国語・論理・表現Ⅰ	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 英語の文法についての基本的な知識を身につけた上で、目的や場面に応じ適切な表現や語彙を用いる技術を身に付ける。</p> <p>(2) 聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を活用し、情報や自分の考えを表現する力を身に付ける。</p> <p>(3) 英語の文化的背景について、読み手に配慮しながら情報や自分の考えを論理的に表現する態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	MY WAY Logic and Expression Ⅰ（三省堂） （放送視聴）NHK 高校講座「英語表現Ⅰ」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の文法についての基本的な知識を身につけた上で、目的や場面に応じ適切な表現や語彙を用いる技術を身に付けている。	聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を活用し、情報や自分の考えを表現する力を身に付けている。	英語の文化的背景について、読み手に配慮しながら情報や自分の考えを論理的に表現する態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves Lesson 2 School Life Lesson 3 The Arts Lesson 4 Food and Culture Lesson 5 Welcome to Our Town	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	Lesson 6 Traveling Abroad Lesson 7 Sports Lesson 8 Everyday Technology Lesson 9 Take Care Lesson 10 SDGs-Take Action!	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期 4 回以上、後期 4 回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期 1 回までスクーリング回数に含めることができる。（視聴 2 回で 1 回分）
	教科別質問教室について	各期 1 回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前 1 回～前 6 回、後 1 回～後 6 回のすべてに合格すること。	
試験	前期 1 回、後期 1 回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日 S	月 S	火 S	木 S
前期	① Lesson1 現在形 (be 動詞・一般動詞)	前 1	1	2	4/21	—	4/23	4/18	
	3		4						
	② Lesson2 過去形 (be 動詞・一般動詞) 現在進行形・過去進行形	前 2	1	2	5/12	—	5/14	5/9	
	3		4						
	③ Lesson3 未来表現・基本時制のまとめ	前 3	1	2	5/26	—	5/28	5/23	
	3		4						
	④ Lesson4 現在完了形①	前 4	1	2	6/9	—	6/11	6/6	
	3		4						
	⑤	この回は、実施されません。							
	⑥ Lesson4 現在完了形②現在完了進行形	前 5	1	2	7/7	—	7/9	7/4	
3	4								
⑦ Lesson5 助動詞・受動態	前 6	1	2	7/21	—	7/23	7/18		
3		4							
放送 視聴	NHK 高校講座「英語表現Ⅰ」 第9回・10回	視聴票	1	2	月 日 合格				
試験	レポート前1～前6の内容		本 試 験	追 再 試	8/18	—	8/20	8/22	
後期	⑧ Lesson6 不定詞	後 1	1	2	10/13	—	10/15	10/10	
	3		4						
	⑨ Lesson7 動名詞 分詞の後置修飾・分詞構文	後 2	1	2	10/27	—	10/29	10/24	
	3		4						
	⑩	この回は、実施されません。							
	⑪ Lesson8 比較①②	後 3	1	2	11/24	—	11/26	11/21	
	3		4						
	⑫ Lesson9 関係代名詞①②	後 4	1	2	12/8	—	12/10	12/5	
	3		4						
	⑬ Lesson10 関係副詞	後 5	1	2	12/22	—	12/24	12/19	
3	4								
⑭ Lesson10 仮定法	後 6	1	2	1/12	—	1/14	1/9		
3		4							
放送 視聴	NHK 高校講座「英語表現Ⅰ」 第30回・31回	視聴票	1	2	月 日 合格				
試験	レポート後1～後6の内容		本 試 験	追 再 試	1/26	—	1/28	1/23	

6 先生からのメッセージ

まずはスクーリングを大切にしましょう。忘れ物をせずに、ルールを守って、スクーリングに集中して取り組み、英語の力をしっかりと身に付けていきましょう。スクーリングだけでなく、NHK 講座を利用したり英検問題に挑戦したりするなど、スクーリング以外の学習時間も確保し「分かる」「できる」をたくさん増やして欲しいと思います。

教科・科目	外国語・論理・表現Ⅱ	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについての基本的な知識を身に付けた上で、目的や場面に応じた論理の構成や展開を理解し、それに応じて適切な表現を使える技能を身に付ける。</p> <p>(2) 日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して表現する力を身に付ける。</p> <p>(3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、情報や考え、意見や主張などを、論理性に注意しながら表現しようとする態度を身に付ける。</p>				
使用教科書 副教材等	MY WAY Logic and Expression II（三省堂）		(放送視聴) NHK 高校講座「英語表現Ⅰ」		

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについての基本的な知識を身に付けた上で、目的や場面に応じた論理の構成や展開を理解し、それに応じて適切な表現を使える技能を身に付けている。	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して表現する力を身に付けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、情報や考え、意見や主張などを、論理性に注意しながら表現しようとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Lesson 1 I Love My Country! Lesson 2 The New Wave of Sports Lesson 3 The Future of Technology Lesson 4 Rediscover <i>Kabuki</i> Lesson 5 Will Our Lives Change with AI?	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? Lesson 8 Language and Society Lesson 9 Send Our Love to the World Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期4回以上、後期4回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。（視聴2回で1回分）
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	①	Lesson 1 I Love My Country! 現在完了形、過去完了形、 未来を表す表現	前1	1	2	4/21	-	4/23	4/25
		3		4					
	②	Lesson 2 The New Wave of Sports 助動詞、助動詞+have+ 過去分詞、be動詞+to不定詞	前2	1	2	5/12	-	5/14	5/16
		3		4					
	③	Lesson 3 The Future of Technology 受動態、不定詞①、②	前3	1	2	5/26	-	5/28	5/30
		3		4					
	④	Lesson 4 Rediscover Kabuki 知覚動詞、使役動詞	前4	1	2	6/9	-	6/11	6/17
		3		4					
	⑤	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI? 動名詞	前5	1	2	6/23	-	6/25	6/27
		3		4					
⑥	この回は、実施されません。								
⑦	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI? 分詞構文、〈with+O+分詞〉	前6	1	2	7/21	-	7/23	7/25	
			3	4					
放送 視聴	NHK 高校講座「英語表現Ⅰ」 第16回・17回	視聴票	1	2	月 日 合格				
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/25	-	8/27	8/29	
後期	⑧	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife 比較	後1	1	2	10/13	-	10/15	10/17
				3	4				
	⑨	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? 関係代名詞、関係副詞	後2	1	2	10/27	-	10/29	10/31
				3	4				
	⑩	Lesson 8 Language and Society 仮定法	後3	1	2	11/10	-	11/12	11/7
				3	4				
	⑪	Lesson 9 Send Our Love to the World 否定の表現、代名詞を使った表現	後4	1	2	11/24	-	11/26	11/28
				3	4				
	⑫	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps 無生物主語	後5	1	2	12/8	-	12/10	12/12
				3	4				
⑬	この回は、実施されません。								
⑭	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps thatを使った表現	後6	1	2	1/12	-	1/14	1/16	
			3	4					
放送 視聴	NHK 高校講座「英語表現Ⅰ」 第26回・27回	視聴票	1	2	月 日 合格				
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/2	-	2/4	1/30	

6 先生からのメッセージ

論理・表現Ⅱは、論理・表現Ⅰを修得した人が履修することができます。発展的な内容を学習するので、英語の基本的な文法を理解しておく必要があります。スクーリングにはできるだけ出席し、レポートは教科書を参考にしながら早めに取り組み、最後まであきらめずに完成させましょう。合格した後は何度もレポートの問題を解いて、学習内容への理解を深めましょう。

教科・科目	外国語・ハンゲル入門	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) ハンゲルの音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、ハンゲルで情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) ハンゲルの背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にハンゲルを用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	ハンゲル初級（白水社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ハンゲルの音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、ハンゲルで情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	ハンゲルの背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にハンゲルを用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	ハンゲルの概要、母音 子音（平音・激音・濃音）、有声音化 終声（パッチム） リエゾン、連音 合成母音 総復習、前期試験対策	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	「第1課 学生です」 「第2課 日本人ではありません」 「第4課 どこにいきますか」 動詞・形容詞の「해요体」 長文の読み 総復習、後期試験対策	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期6回以上、後期6回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	①	ハンゲルの概要、母音	前1	1 3	2 4	4/21	—	4/23	4/18
	②	子音（平音・激音・濃音） 有声音化	前2	1 3	2 4	5/12	—	5/14	5/9
	③	終声（パッチム）	前3	1 3	2 4	5/26	—	5/28	5/23
	④	リエゾン、連音	前4	1 3	2 4	6/9	—	6/11	6/6
	⑤	この回は、実施されません。							
	⑥	合成母音	前5	1 3	2 4	7/7	—	7/9	7/4
	⑦	総復習、前期試験対策	前6	1 3	2 4	7/21	—	7/23	7/18
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/18	—	8/20	8/22	
後期	⑧	第1課 学生です ～ですか、です型の文	後1	1 3	2 4	10/13	—	10/15	10/10
	⑨	第2課 日本人ではありません 否定の言い方	後2	1 3	2 4	10/27	—	10/29	10/24
	⑩	この回は、実施されません。							
	⑪	第4課 どこにいきますか 動詞、形容詞 「입니다体、습니다体」	後3	1 3	2 4	11/24	—	11/26	11/21
	⑫	動詞・形容詞の「해요体」	後4	1 3	2 4	12/8	—	12/10	12/5
	⑬	長文の読み	後5	1 3	2 4	12/22	—	12/24	12/19
	⑭	総復習、後期試験対策	後6	1 3	2 4	1/12	—	1/14	1/9
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/26	—	1/28	1/23	

6 先生からのメッセージ

「ハンゲル」の学習を通して、朝鮮半島に住む人びとの文化や習慣も理解していきます。「ハンゲル」の読み方から始め、挨拶や簡単な会話ができるように面接指導（授業）を進めていきます。日本語と言葉の並び方が似ており、日本語の発音に似た言葉もたくさんあります。積極的に声を出してよく読むことが上達のコツです。スクーリングに休まず出席できる人が受講してください。

教科・科目	外国語・ハンゲル	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	4	開講期	前期と後期

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) ハンゲルの特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) ハンゲルの背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にハンゲルで聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	ハンゲル初級（白水社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ハンゲルの特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	ハンゲルの背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にハンゲルで聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	音の変化（発音法則）等 第1課 肯定形・疑問形 第2課 否定形・存在形 第4課 疑問詞の使い方 第5課 命令形・ていねいな命令形 第6課 否定形	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第7課 過去形 第8課 未来形・尊敬語 第3課 ことわざ①、第9課 ことわざ②・歌 第10課 禁止・願望・形容詞の連体形 第11課 動詞の連体形・進行形 スピーチ	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期8回以上、後期8回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	① 音の変化（発音法則） 有声音化、鼻音化、激音化 濃音化、口蓋音化、舌側音化	前1	1	2	4/21	—	4/23	4/25	
			3	4					
	② 第1課 肯定形・疑問形	前2	1	2	5/12	—	5/14	5/16	
			3	4					
	③ 第2課 否定形・存在形	前3	1	2	5/26	—	5/28	5/30	
			3	4					
	④ 第4課 疑問詞の使い方	前4	1	2	6/9	—	6/11	6/17	
			3	4					
⑤ 第5課 命令形・ていねいな命令形	前5	1	2	6/23	—	6/25	6/27		
		3	4						
⑥ 第6課 否定形	前6	1	2	7/7	—	7/9	7/11		
		3	4						
⑦ 前期の復習					7/21	—	7/23	7/25	
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/25	—	8/27	8/29	
後期	⑧ 第7課 過去形	後1	1	2	10/13	—	10/15	10/17	
			3	4					
	⑨ 第8課 未来形・尊敬語	後2	1	2	10/27	—	10/29	10/31	
			3	4					
	⑩ 第3課 ことわざ① 第9課 ことわざ②・歌	後3	1	2	11/10	—	11/12	11/7	
			3	4					
	⑪ 第10課 禁止・願望	後4	1	2	11/24	—	11/26	11/28	
			3	4					
⑫ 第10課 形容詞の連体形 第11課 動詞の連体形	後5	1	2	12/8	—	12/10	12/12		
		3	4						
⑬ 第11課 進行形	後6	1	2	12/22	—	12/24	12/26		
		3	4						
⑭ スピーチ、後期の復習					1/12	—	1/14	1/16	
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/2	—	2/4	1/30	

6 先生からのメッセージ

「ハングル入門」での学習を進展させ、ハングルの文法を押さえながらスピーチを作って発表したり、コミュニケーションが取れるように面接指導（授業）を進めていきます。積極的に声を出してよく読むことが上達のコツです。スクーリングに休まず出席できる人が受講してください

教科・科目	外国語・中国語入門	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	新・高校版 中国語はじめの一步（白水社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1課 中国人ですか？ 第2課 これは何ですか？ 第3課 どこへ行きますか？ 第4課 この鞆はいくらですか？ 第5課 午後に用事がありますか？ 第6課 ご飯を食べましたか？	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第7課 何人家族ですか？ 第8課 何時からアルバイトを始めますか？ 第9課 アメリカに行ったことがありますか？ 第10課 歌は歌えますか？ 第11課 何をしていますか？、自己紹介	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期6回以上、後期6回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	① 第1課 中国人ですか？	前1	1	2	4/21	—	4/23	4/18	
	3		4						
	② 第2課 これは何ですか？	前2	1	2	5/12	—	5/14	5/9	
	3		4						
	③ 第3課 どこへ行きますか？	前3	1	2	5/26	—	5/28	5/23	
	3		4						
	④ 第4課 この鞆はいくらですか？	前4	1	2	6/9	—	6/11	6/6	
3	4								
⑤	この回は、実施されません。								
⑥ 第5課 午後に用事がありますか？	前5	1	2	7/7	—	7/9	7/4		
3		4							
⑦ 第6課 ご飯を食べましたか？	前6	1	2	7/21	—	7/23	7/18		
3		4							
試験	レポートの会話部分の内容		本試験	追再試	8/18	—	8/20	8/22	
後期	⑧ 第7課 何人家族ですか？	後1	1	2	10/13	—	10/15	10/10	
	3		4						
	⑨ 第8課 何時からアルバイトを始めますか？	後2	1	2	10/27	—	10/29	10/24	
	3		4						
	⑩	この回は、実施されません。							
	⑪ 第9課 アメリカに行ったことがありますか？	後3	1	2	11/24	—	11/26	11/21	
	3		4						
⑫ 第10課 歌は歌えますか？	後4	1	2	12/8	—	12/10	12/5		
3		4							
⑬ 第11課 何をしていますか？	後5	1	2	12/22	—	12/24	12/19		
3		4							
⑭ 自己紹介	後6	1	2	1/12	—	1/14	1/9		
3		4							
試験	レポートの会話部分の内容		本試験	追再試	1/26	—	1/28	1/23	

6 先生からのメッセージ

基礎的な内容を中心に進めていきます。スクーリングに出席するときは、教科書を忘れないようにしましょう。レポートは分からないことがあれば質問し、早めに提出するようにしましょう。

教科・科目	外国語・中国語	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 中国語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付ける。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語で聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	中国語つぎへの一步（白水社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	中国語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりしてその意図や概要、要点を捉えたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、論理性に注意して伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語で聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとする態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1課 中国に行こう！	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	第2課 ジャスミン茶を飲もう！			
	第3課 友だちをつくろう！			
	第4課 長城に登ろう！			
	第5課 卓球を楽しもう！			
	第6課 漢字を覚えよう！			
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第7課 街を歩こう！	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験
	第8課 中国映画を見よう！			
	第9課 チャイナドレスを買おう！			
	第10課 中華を食べよう！			
	第11課 西遊記を読もう！			
	第12課 春節を祝おう！			
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期8回以上、後期8回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録

5 学習の記録		添削担当者		先生		登録			
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① 第1課 中国に行こう！	前1	1	2	4/21	—	4/23	4/25	
			3	4					
	② 第2課 ジャスミン茶を飲もう！	前2	1	2	5/12	—	5/14	5/16	
			3	4					
	③ 第3課 友だちをつくろう！	前3	1	2	5/26	—	5/28	5/30	
			3	4					
	④ 第4課 長城に登ろう！	前4	1	2	6/9	—	6/11	6/17	
3			4						
⑤ 第5課 卓球を楽しもう！	前5	1	2	6/23	—	6/25	6/27		
		3	4						
⑥ 第6課 漢字を覚えよう！	前6	1	2	7/7	—	7/9	7/11		
		3	4						
⑦ 前期の復習					7/21	—	7/23	7/25	
試験	レポート前1～前6の本文内容		本試験	追再試	8/25	—	8/27	8/29	
後期	⑧ 第7課 街を歩こう！	後1	1	2	10/13	—	10/15	10/17	
			3	4					
	⑨ 第8課 中国映画を見よう！	後2	1	2	10/27	—	10/29	10/31	
			3	4					
	⑩ 第9課 チャイナドレスを買おう！	後3	1	2	11/10	—	11/12	11/7	
			3	4					
	⑪ 第10課 中華を食べよう！	後4	1	2	11/24	—	11/26	11/28	
3			4						
⑫ 第11課 西遊記を読もう！	後5	1	2	12/8	—	12/10	12/12		
		3	4						
⑬ 第12課 春節を祝おう！	後6	1	2	12/22	—	12/24	12/26		
		3	4						
⑭ 後期の復習					1/12	—	1/14	1/16	
試験	レポート後1～後6の本文内容		本試験	追再試	2/2	—	2/4	1/30	

6 先生からのメッセージ

レポートは、教科書を参考にしながら取り組み、あきらめずに完成させましょう。QRコードをかざし、音声を聞くことがレポートの問題を解く近道です。分からないところは、教科別質問教室に参加するなどして質問してみましょう。NHK Eテレ「中国語！ナビ」も活用してみてください。